

第四北越銀行百五十年史



第四北越銀行 本店



第四北越銀行 長岡本店

発刊のごあいさつ



経営理念

**私たちは
信頼される金融グループとして**

**みなさまの期待に応えるサービスを提供し
地域社会の発展に貢献し続けます**

**変化に果敢に挑戦し
新たな価値を創造します**

第四北越銀行は、国内最古の源流銀行である「第四国立銀行」の1873年(明治6年)の創立から、2023年11月2日で創立150周年を迎えることができました。これもひとえにお客さま、地域社会、株主の皆さまの永きにわたる温かいご支援、ご愛顧の賜物であり心より感謝申し上げます。

このたび、創立150周年の記念事業の一環として、これまでの当行の歴史を一冊にまとめ、新潟県の金融の歴史として記録を残すことといたしました。第四北越銀行に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

第四北越銀行は、2021年1月に第四銀行と北越銀行が合併して誕生しました。両行ともに資本主義経済の黎明期である明治の初期に創業し、これまで多くの困難に遭遇いたしましたが、地方銀行としての役割・使命を果たしながら地域とともに歩み、成長してまいりました。

平成以降を振り返りますと、金融経済面では、バブル崩壊後失われた30年と言われるほどの長きに渡るデフレ経済や、リーマンショックによる世界的な金融不安の加速、さらには日本銀行によるマイナス金利政策の導入やデジタル技術の急速な進展と相まった異業種との競合激化など、まさに激動の時代でありました。また社会構造面を見ますと、人口減少・少子高齢化などの構造的な社会課題が一層深刻化し、自然環境面では、気候変動に伴う度重なる豪雨や、大規模地震による災厄に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大にも見舞われました。このように経営環境はかつてないほど複雑性、不確実性を増しています。

こうしたなか、私どもは、「信頼を礎として地域に貢献する」という強い「志」を、これまで150年にわたって脈々と受け継ぎながら、環境変化に応じた「進化」を遂げてまいりました。この「志」は、どのような経営環境になろうともいっさい変わることはなく、第四北越フィナンシャルグループの経営理念においては「地域に貢献し続ける」として永続性を謳っています。

地域なくして当行は存在しえません。次の150年に向けて、全役職員が歴史と伝統を誇りとしつつ、地域のために全力で様々な挑戦を続け新たな価値を創造し、地域とともに当行が持続的に成長していく、まさしくサステナブルな成長を追求してまいります。

今後も一層のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げ、発刊のご挨拶とさせていただきます。

2025年1月

第四北越フィナンシャルグループ 代表取締役社長
第四北越銀行 取締役頭取

殖 栗 道 郎

TOP MESSAGE



151年目(フィナンシャルグループ設立6年目)を迎え、飛躍のステージと位置付ける
第三次中期経営計画のスタートにあたってのトップメッセージです。

経営理念の実践

ー地域と当社グループのサステナブルな成長に向けてー

第四北越フィナンシャルグループの経営理念はサステナブルな価値創造ストーリーの大原則となるものであり、いかなる環境下においても、この経営理念に則った行動を実践していくことが不可欠です。「信頼」なくして人間関係は成り立たず、ましてビジネスの世界ではあらゆる取引が常に「信頼」が大前提となって成立しています。第四北越銀行では、1873年の創立以来、150年以上にわたり刻々と変化する環境に対応しながら、地域金融機関としての役割・使命を果たすことで、地域の皆さまとの信頼関係を築き、深めながら、地域とともに成長して

きました。

この信頼関係を礎に「みなさまの期待に応えるサービスを提供し、地域社会の発展に貢献し続ける」ことが当社の最大の使命、存在意義、つまりは当社のパーパスであり、これから10年、20年経っても、どのような経営環境になろうとも、この使命はいつさい変わることはありません。そこで、私をはじめとする役員全員は、職員に向けて次のように繰り返し、繰り返し説き続けています。

すなわち「我々は『信頼される金融グループ』であり続けるために、倫理観の醸成と人格形成に努めるとともに、新潟県を代表する金融・情報サービスグループの一員として、地域から寄

せられている大きな期待に全力でお応えしていくとの気概と矜持を持って自己研鑽に努め、『変化に果敢に挑戦し、新たな価値を創造』して、当社の使命を果たしていく」、そして「役職員のすべての事業活動は常にこの経営理念に整合的で、経営理念を目指すものでなければならない」という考え方であります。

第三次中期経営計画

第四北越フィナンシャルグループを取り巻く経営環境は、少子高齢化を伴う人口減少が想定を上回るスピードで進行しているほか、生成AIに象徴されるデジタル技術の革新と相まった異業種による金融分野への参入も増加し、業態の垣根を越えた競合が一層激化しています。さらには、脱炭素をはじめとした地球環境への対応が不可逆的な潮流となっているほか、地政学的リスクの顕在化による国際秩序の変容も新たな脅威となっています。加えて、長年続いた我が国のデフレ経済や超低金利政策が転換期を迎えているなど、複雑性や不確実性を増しながら加速度的かつ多面的に変化しています。

こうした経営環境のもと、2024年4月からスタートさせた第三次中期経営計画では、取り組む経営課題の視点として、従前からの「財務的課題」に加え、地域社会が抱えるさまざまな課題のうち優先して取り組む「環境・社会課題」を設定し、この2つを当社グループが克服すべき最重要経営課題「ダブルマテリアリティ」といたしました。

「財務的課題」には「収益力の強化」、「生産性の向上」、「健全性の維持・向上」の3点、「環境・社会課題」には「地球環境問題への積極的な取り組み」など、E (Environment: 環境)、S (Social: 社会)、G (Governance: ガバナンス) の各分野で課題を特定しています。

これらの課題の同時解決に向けて、「グルー



プ総合力の発揮」「生産性向上の追求」「人的資本価値の向上」「リスクマネジメントの深化」の4つの基本戦略に取り組み、あらゆる分野において、「イノベーション加速のメインエンジン」である「TSUBASAアライアンス」や「群馬・第四北越アライアンス」の連携を最大限活用していきます。

第三次中期経営計画に込めた想い

— 当社の企業価値向上に向けた挑戦 —

私は、第三次中期経営計画を「グループ全役職員が志(=経営理念)を一つにし、強い気持ちで変化に挑戦し、勇ましく飛躍するステージ」と位置づけ、「一志勇躍」を新たな合言葉(スローガン)として掲げました。

第四北越フィナンシャルグループが三大シナジー(合併シナジー、グループシナジー、TSUBASA連携シナジー)の発揮によってこれまで成長してきたことは、全役職員が「一志団結」で努力し続けたことによる大きな成果であります。

しかしながら現在の第四北越フィナンシャルグループは、経営統合、銀行合併を経て、一つの組織体として態勢が整ったところ、いわばようやくスタートラインに立ったところであり、ここから真価を発揮してさらなる高みへ「勇躍」します。

その基本的な方針は次の3点です。

①既存業務をさらに深掘りしていくグループ経営の「深化」と、新しい分野へ挑戦する「探索」の両面から取り組んでいきます。また、②第四北越フィナンシャルグループの強みである非金利収益分野などへ大胆に経営資源を集中させていくほか、③「探索」にあたってはトライ・アンド・エラーを基本に、まずやってみることに重きを置いて、検討に時間をかけ過ぎずに繰り返し「挑戦」し成功を模索していきます。

人的資本価値の向上に向けて

第四北越フィナンシャルグループでは、これまで人材の材を財産の「財」と表現し、人財育成への投資額を每期継続的に増やしているほか、職員が能力を最大限発揮できる職場環境の整備を進めるなど、人的資本の強化に向けて積極的に取り組んでいます。

人財こそが持続的な価値創造や競争優位を生み出す源泉であり、新中計においてもさらに取り組みを強化していきます。

また、多様性の確保の観点では、2024年6月に第四北越フィナンシャルグループにおいてグループ内から初となる女性取締役が誕生しました。女性の取締役については、社内でも育成することを第一に候補者の育成に取り組んでおり、銀行では女性の部長や支店長が多数活躍しているほか、グループ会社においても女性の社長や役員が就任しています。経験者採用も積極的に実施しており、証券会社出身者がグループ会社社長に就任するなど、第四北越フィナンシャルグループの人財の多様性は着実に進んでいます。

このほか、職員のエンゲージメント向上や健康経営・職場環境整備にも継続して取り組み、E S（従業員満足度）とC S（顧客満足度）、そして業績（含、リスク管理）の三面を好循環させる

仕事の在り方を研究し、これを実現する仕組みの構築にも取り組んでいます。

未来にむけて

2023年度は、10月に第四北越フィナンシャルグループ設立5周年、また、11月に第四北越銀行創立150周年を迎えることができました。これもひとえにステークホルダーの皆さまのご支援のおかげであり、心より感謝申し上げます。

近年の経営統合・銀行合併の間に体制・意識・行動の三面において変革を進めた結果、当社は環境に適した戦略・戦術の立案と実行、その後の臨機の修正と実行を行うP D C Aを確実に推進していく「遂行力」と、全体最適とは何かを明確にしたうえで組織横断的に追求する「組織総合力」、この二つの「力」を着実に高めてまいりました。

引き続き、この二つの「力」の向上に取り組み、合言葉「一志勇躍」のもと、強い気持ちで激しい変化の時代、いわゆるV U C Aの時代に挑戦し、地域の発展に貢献し続けてまいります。

ぜひとも、今後の第四北越フィナンシャルグループの活動にご期待ください。

（2024年度第四北越フィナンシャルグループ統合報告書より抜粋）



目次

発刊のごあいさつ

第四北越フィナンシャルグループ代表取締役社長
第四北越銀行取締役頭取 殖栗 道郎

TOP MESSAGE

第Ⅰ部 不撓不屈 ～創業から高度経済成長下の発展まで～

フロローグ

第1章 第四国立銀行、第六十九国立銀行の創立 1873-1896

第1節 銀行制度の始まりと新潟県

新潟県における銀行の生成	3
明治時代前期の新潟県経済	4

第2節 第四国立銀行としてスタート——第四銀行

第四国立銀行の創立	6
初期の業務内容	7
厳しい経営状況	8
商業金融の重点方針	8
銀行機能の拡大	9

第3節 第六十九国立銀行の創立——北越銀行

第六十九国立銀行の創立	11
経営体制の基礎固め	12
業務の広がり	13

第4節 業績の変遷

第四国立銀行の預金・貸出・利益の推移	14
第六十九国立銀行の預金・貸出・利益の推移	15
銀行紙幣の消却	16

第2章 両国立銀行の普通銀行への転換と長岡銀行の創立 1896-1926

第1節 日本経済の成長と銀行の事業展開

日露戦争・第1次大戦による好況と反動恐慌	17
新潟県産業の発展	18
国立銀行の普通銀行への転換	19
大正期の銀行合同政策	19

第2節 新潟銀行時代を経て——第四銀行

新潟銀行の開業と第四銀行への商号変更	22
経営体制の整備	22
代理店業務の拡大	23
営業方針の確立と営業店の増設	24
東京明治銀行の破綻と東京支店	25
合同の開始	25

第3節 第六十九国立銀行の普通銀行への転換と長岡銀行の創立——北越銀行

1. 六十九銀行の発足

六十九銀行に改称	27
経営姿勢と内部体制	27
支店網の拡充	28
反動恐慌後の滞貸金整理と関東大震災による影響	29

2. 長岡銀行の創立

経済界主導の銀行新設	30
経営体制の強化と頭取の交代	31
為替取引の開始と貯蓄銀行業務の兼営	32
相次ぐ店舗の開設	32
合併戦略の推進	34
関東大震災による被害	35

第4節 業績の変遷

新潟銀行(第四銀行)の預金・貸出・利益の推移	36
六十九銀行の預金・貸出・利益の推移	37
長岡銀行の預金・貸出・利益の推移	39

第3章 銀行合同の進展と長岡六十九銀行の発足 1927-1945

第1節 昭和恐慌から戦時統制へ

不況の長期化	41
新潟県における産業構造の変化	42
第2次銀行合同の実施	43
一県一行主義へ	44

第2節 銀行合同の進展と統制への対応——第四銀行

頭取の交代	46
恐慌への対応と慎重な貸出方針	46
銀行合同の本格化	47
業務機構の改革	48
戦時統制経済下の営業	49
店舗網の広がり	50
本店の新築	50
事務の簡素化と女性行員の増加	51

第3節 六十九銀行と長岡銀行の合併——北越銀行

1. 恐慌下の六十九銀行

頭取の交代	52
恐慌への対応	52
合併の積極的推進	52

2. 長岡銀行の苦境

金融恐慌時の対応	53
減資による滞貸金の整理	53
東京市内支店の廃止	54

3. 長岡六十九銀行の設立

合併の経緯	55
長岡六十九銀行の発足	56
重複店舗の整理	56
貯蓄業務の兼営と預金種目の整理	57

第4節 業績の変遷

第四銀行の預金・貸出・収益の推移	58
六十九銀行の預金・貸出・収益の推移	59
長岡銀行の預金・貸出・収益の推移	60
長岡六十九銀行の預金・貸出・収益の推移	61

第4章 戦後復興期の第四銀行・北越銀行 1945-1954

第1節 日本経済の再建と金融制度の整備

終戦後の日本経済	62
新潟県の産業復興	63
金融制度の整備	64
新潟県内金融機関の発展	64

第2節 戦後の再建整備——第四銀行

終戦直後の苦境	66
再建整備の実施	67
再建後の経営方針と預金増強運動	67
頭取の交代	69
本部機能の充実	69
貸出方針の変質と信託業務の停止	69
店舗網の整備	70

第3節 新行名のもとでの新たなスタート——北越銀行

店舗の復旧と支店の増設	71
再建整備の実施	72
頭取の交代と本部機構の独立	72
預金増強運動の展開と貸出の抑制	73
北越銀行への商号変更	73

第4節 業績の変遷

第四銀行の預金・貸出・収益の推移	74
長岡六十九銀行(北越銀行)の預金・貸出・収益の推移	75

第5章 高度経済成長下の第四銀行・北越銀行の発展 1955-1973

第1節 高度経済成長の進展と安定成長への転換

高度経済成長とドルショック・オイルショック	77
地域格差の進行と新潟県の産業構造の変化	77
金融二法の制定	78
店舗行政の変化	79

第2節 堅実経営から積極経営へ——第四銀行

堅実経営から積極経営へ	81
頭取の交代	81
経営組織の強化	82
積極的な店舗政策	83
本店の新築	84
預金増強運動の推進	85
新種預金の発売	86
貸出方針の変化	87
為替業務の新展開	88
営業店事務の合理化	89
事務機械化・集中処理に着手	89
総合オンラインへの道	90

第3節 経営基盤の拡大・強化——北越銀行

頭取の交代	93
長期経営計画の策定	94
経営組織の充実	94
店舗の増設	95
新本店の建設	96
預金増強運動の展開	96
新種預金の発売	97
消費者ローンの開発	97
為替業務の変革	98
事務の機械化・集中化	98
総合オンラインシステムの完成	99
営業店組織の改正	99

第4節 新潟地震への対応

102

第5節 業績の変遷

第四銀行の預金・貸出・収益の推移	103
北越銀行の預金・貸出・収益の推移	104

第Ⅱ部 切磋琢磨 ～金融自由化から第四北越フィナンシャルグループ設立前まで～

第1章 護送船団方式から金融自由化への変革 1974-1990

第1節 外部環境および社会情勢

安定成長への移行と経済大国化	110
金融自由化の進展と「銀行離れ」	111
バブルの発生	111
1970～80年代における地方経済	112

第2節 総合金融業を展開する第四銀行

1 激変する時代への対応

時代の変化への対応	114
1970年代後半から1980年代後半までの経営計画	114

2 1974年度開始の長期経営計画

地域との密着強化に向けて	116
--------------------	-----

3 1989年度開始の長期経営計画『WIND－4プラン』

あるべき姿「理念」の明確化	118
---------------------	-----

4 第四銀行の個別施策

①事業性融資・法人向け支援	120
②消費性融資	120
③預金・預かり資産	121
④営業店の事務、システム改革等	123
⑤国際業務	125
⑥人事制度、人材育成	126
⑦CSR・社会貢献・環境問題への取り組み	127
⑧資本政策・広報等	127

第3節 金融革新への積極的な対応を進める北越銀行

1 行是の制定

時代の変化への対応	129
基本理念・計数目標の推移	129

2 1976年度開始の長期経営計画「3S計画」

5,000億円銀行を目指して	131
----------------------	-----

3 1989年度開始の長期経営計画「SCRUMプラン」

総合営業力の発揮に向けて	132
--------------------	-----

4 北越銀行の個別施策

①事業性融資・法人向け支援	134
②消費性融資	134
③預金・預かり資産	135
④営業店の事務、システム改革等	137
⑤国際業務	137
⑥人事制度、人材育成	138
⑦CSR・社会貢献・環境問題への取り組み	139
⑧資本政策	139

第4節 業績の変遷

第2章 バブル崩壊と不良債権問題 1991-1995

第1節 外部環境および社会情勢

バブル崩壊と不良債権問題の発生	144
「失われた10年」の始まり	144
規制緩和の進展と金融行政	145
BIS規制の導入と銀行経営への影響	146
「産業の空洞化」と地方経済	146

第2節 お客さまに選ばれる銀行を目指す第四銀行

1 経営環境の大きな変化

バブル崩壊の影響と経営環境の大きな変化	148
企業理念の採用	148

2 1992年度開始の長期経営計画「Big Wave '95」

基本方針・重点施策	150
-----------	-----

3 1995年度開始の長期経営計画『CREATE21』

21世紀に対応できる経営体質の構築	151
重点施策・取り組み	152

4 第四銀行の個別施策

①事業性融資・法人向け支援	153
②消費性融資	154
③預金・預かり資産	154
④営業店の事務、システム改革等	155
⑤国際業務	156
⑥人事制度、人材育成	156
⑦CSR・社会貢献・環境問題への取り組み	156
⑧懸賞・資本政策等	157

第3節 地域のベストバンクを目指す北越銀行

1 頭取が提唱した北越銀行の使命

信頼され、愛され、親しまれる銀行	158
------------------	-----

2 1992年度開始の第10次長期経営計画

前長期経営計画の反省と継続して改善すべき課題	159
基本方針・重点施策	159

3 1995年度開始の第11次長期経営計画「HEARTYプラン120」

経営体質のすぐれた銀行づくり	160
基本方針と重点施策	161

4 北越銀行の個別施策

①事業性融資・法人向け支援	162
②消費性融資	163
③預金・預かり資産	163
④営業店の事務、システム改革等	164
⑤国際業務	164
⑥人事制度、人材育成	165
⑦CSR・社会貢献・環境問題への取り組み	166
⑧懸賞等	166

第4節 業績の変遷 168

第3章 日本版金融ビッグバンへの対応 1996-2001

第1節 外部環境および社会情勢

アジア通貨危機と深刻化する不況	172
日本版金融ビッグバン	172
金融システム不安と業界再編	173
非伝統的金融政策の導入	174
新たな制度整備と銀行の対応	174
苦境を迎えた新潟県経済	175

第2節 強い銀行、ステークホルダーに満足してもらえる銀行を目指す第四銀行

1 日本版金融ビッグバンへの対応	177
2 1998年度開始の長期経営計画「改革プランChange 3」	
「お客さまの信頼に応える強い銀行」を目指して	178
基本戦略・基本施策	179
3 2000年度開始の長期経営計画「TRY BEST 21」	
ステークホルダーの満足を目指して	180
具体的戦略	181
4 第四銀行の個別施策	
①事業性融資・法人向け支援	183
②消費性融資	184
③預金・預かり資産	185
④営業店の事務、システム改革等	185
⑤国際業務	188
⑥人事制度、人材育成	189
⑦CSR・社会貢献・環境問題への取り組み	189
⑧広報・IR活動等	189

第3節 将来の飛躍に向けた足場固めを進める北越銀行

1 金融ビッグバンへの対応と不良債権処理	191
2 1998年度開始の第12次長期経営計画「変革プラン21」	
基本方針・重点施策	193
3 2000年度開始の中期経営計画(第13次経営計画)	
足場固めの2年間で戦略の方向性	194
営業戦略・推進態勢	195
本部組織の再編	196
4 北越銀行の個別施策	
①事業性融資・法人向け支援	197
②消費性融資	198
③預金・預かり資産	199
④営業店の事務、システム改革等	200
⑤国際業務	200
⑥人事制度、人材育成	201
⑦CSR・社会貢献・環境問題への取り組み	201
⑧組織変更・広報・資本政策等	201

第4節 業績の変遷 203

第4章 景気回復の足取りが重い新潟県と自然災害 2002-2007

第1節 外部環境と自然災害

長期的な景気拡大	208
不良債権処理の最終局面	208
構造改革の進展	209
ペイオフ解禁の実施	209
銀行経営の変化	210
新潟経済	210
新潟県を襲う自然の猛威	211

第2節 地域と共生する第四銀行

1 行動し、リスクに挑戦する銀行を目指して	212
2 2003年度開始の長期経営計画「Next Stage130」	
地域と共生する銀行	213
重点施策	213
「リレーションシップバンキング」とNext Stage130の関係	213
攻めの経営「進化宣言2004」	215
3 2006年度開始の中期経営計画「だいしアドバンスプラン」	
地域に貢献し地域と共に発展する総合金融サービス業	216
成果と課題	217
4 第四銀行の個別施策	
①事業性融資・法人向け支援	218
②消費性融資	221
③預金・預かり資産	221
④営業店の事務・システム改革等	222
⑤国際業務	223
⑥人事制度・人材育成	223
⑦CSR・社会貢献・環境問題への取り組み	224
⑧海外IR・自然災害対応等	224

第3節 逆境をプラスに変える北越銀行

1 地域との共存・共栄を目指して	226
2 2002年度開始の第14次長期経営計画	
安定した財務基盤の確立と地域社会との共生	227
重点施策と取り組み	228
北越銀行の「リレーションシップバンキング」	229
3 2005年度開始の第15次長期経営計画「パワーアップ100」	
取り巻く環境の大きな変化	229
攻めの経営	230
重点施策と取り組み	231
4 北越銀行の個別施策	
①事業性融資・法人向け支援	232
②消費性融資	234
③預金・預かり資産	235
④営業店の事務・システム改革等	236
⑤CSR・社会貢献・環境問題への取り組み	237
⑥自然災害対応	237

第4節 業績の変遷	239
-----------------	-----

第5章 世界金融危機、東日本大震災を越えて 2008-2012

第1節 外部環境および社会情勢

リーマン・ショックから世界金融危機へ	244
日本経済への影響	245
東日本大震災の発生	245
銀行業の国際化と地方銀行の業界再編	246
リーマン・ショックの新潟経済への影響	246

第2節 140周年を迎えた第四銀行

1 地域社会の発展に貢献するために	248
2 2009年度開始の中期経営計画「だいしAAAAプラン」	
4つの「A」でお客さまとの絆を強化	248
基本方針と経営戦略	249
3 2012年度開始の中期経営計画「ステップアップ140」	
持続的な成長に向けて	251
3つの基本戦略と重点施策	251
4 第四銀行の個別施策	
①事業性融資・法人向け支援	254
②消費性融資	255
③預金・預かり資産	256
④営業店の事務・システム改革等	256
⑤国際業務	257
⑥人事制度・人材育成	257
⑦CSR・社会貢献・環境問題への取り組み	258
⑧広報活動等	259

第3節 地銀の原点に立ち返る北越銀行

1 外部環境認識	260
2 2008年度開始の第16次長期経営計画	
真に必要とされる銀行を目指して	261
3 2011年度開始の第17次長期経営計画	
常に選ばれる銀行へ	263
4 北越銀行の個別施策	
①事業性融資・法人向け支援	266
②消費性融資	266
③預金・預かり資産	267
④営業店の事務・システム改革等	267
⑤人事制度・人材育成	267
⑥CSR・社会貢献・環境問題への取り組み	268
⑦成長基盤分野支援等	269

第4節 業績の変遷	270
-----------	-----

第6章 アベノミクスと日銀の異次元の金融緩和政策 2013-2017

第1節 外部環境および社会情勢

再度の長期的な景気拡大	274
異次元金融緩和の展開	274
家計の資産形成を促すための制度設計	275
フィンテックの拡大と銀行経営	276
2010年代半ばの新潟県経済	276

第2節 構造改革に取り組む第四銀行

1 環境認識と経営課題	278
2 2015年度開始の中期経営計画「ステップアップ2nd Stage」	
持続的な成長を目指して	279
基本戦略および重要戦術	279
3 2018年度開始の中期経営計画「ステップアップNew Stage」	
新しいステージでの飛躍に向けて	282
基本戦略および重要戦術	282
第四北越フィナンシャルグループ第一次中期経営計画へ	284
4 TSUBASAアライアンス	
地域を超えた連携の開始	284
TSUBASA金融システム高度化アライアンスの発足	285
T&Iイノベーションセンターの設立	285
5 第四銀行の個別施策	
①事業性融資・法人向け支援	285
②消費性融資	288
③預金・預かり資産	288
④国際業務	288
⑤人事制度・人材育成	289
⑥CSR・社会貢献・環境問題への取り組み	289
⑦広報活動	290

第3節 人材育成により存在価値を高める北越銀行

1 課題認識	291
2 2014年度開始の第18次長期経営計画	
顧客の期待に応え地域に貢献する銀行を目指して	292
3 2017年度開始の第19次長期経営計画	
ひたすら地元のために、そして明日(みらい)へ	294
戦略と主要施策	295
第四北越フィナンシャルグループ第一次中期経営計画へ	296
4 北越銀行の個別施策	
①事業性融資・法人向け支援	296
②消費性融資	298
③預金・預かり資産	299
④国際業務	299
⑤人事制度・人材育成	300
⑥CSR・社会貢献・環境問題への取り組み	300
⑦組織変更等	301

第4節 業績の変遷	302
-----------	-----

第Ⅲ部 一志団結 ～地域とともに歩む新しい金融グループの誕生～

地域とともに歩む新しい金融グループの誕生 2018—

第1章 外部環境および社会情勢

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行	308
日本経済への影響	308
サステナブルな社会を目指す動き	309
地政学的リスクの増大と物価問題	309
新潟経済への影響	310

第2章 第四北越フィナンシャルグループ誕生

経営統合の背景・経緯	311
経営統合に関する基本合意	312
経営統合によりお客さまに還元される効果	313
経営理念	314
第四北越フィナンシャルグループの発足	314
第四北越銀行の設立に向けて	315
合併・システム事務統合プロジェクト	315
第四北越銀行の誕生と店名・店番号変更および店舗統合(移転)	315
各種記念施策(キャンペーン、商品等)	316

第3章 グループシナジーの創造を目指して

第1節 フィナンシャルグループ第一次中期経営計画(2018年10月～2021年3月)

1 環境認識、経営課題	318
2 計画の概要	319
重要経営課題	319
スタートアップ180(最重要活動期間)	320
3 基本戦略と重要戦術	320
■ 基本戦略Ⅰ「金融仲介機能及び情報仲介機能の向上」	321
■ 基本戦略Ⅱ「経営の効率化」	322
■ 基本戦略Ⅲ「グループ管理態勢の高度化」	322
4 成果	323

第2節 フィナンシャルグループ第二次中期経営計画(2021年4月～2024年3月)

1 環境認識と課題、概要	324
DasH!!120(ダッシュ120)	325
2 基本戦略と重要戦術	326
■ 基本戦略Ⅰ「シナジー効果の発揮」	326
■ 基本戦略Ⅱ「生産性の飛躍的向上」	327
■ 基本戦略Ⅲ「人財力の育成・強化」(2023年4月「人的資本経営の実践」に改称)	327
■ 基本戦略Ⅳ「リスクマネジメントの深化」	328
■ 基本戦略Ⅴ「サステナビリティ経営の実践」(2022年4月より追加)	329
3 成果	329
第三次中期経営計画に向けて	330

第4章 地域との共生 サステナビリティへの取り組み

第1節 これまでの社会貢献活動の歴史

- 1 社会貢献からCSRへの変遷 331
- 2 サステナビリティ志向の高まり 331
- 3 社会貢献活動・CSR・ESG等の主な取り組み 332
 - 公共の福祉に資する取り組み 332
 - 教育・スポーツ等の支援に関する取り組み 332
 - 芸術・文化活動に関する取り組み 333

第2節 サステナビリティ経営に向けた取り組み

- 1 2020年代前半のフィナンシャルグループのサステナビリティ経営について 334
- 2 サステナビリティ経営の将来像 336
 - 求められる役割 336
 - 2050年のカーボンニュートラル実現 337
 - SXの実現 337
 - サステナビリティ経営の実現に向けて 337

第5章 3大シナジーの発揮(個別施策)

第1節 合併シナジー

- 1 商品・サービス 339
- 2 組織融和・人事制度等 342
- 3 店舗改革 344

第2節 TSUBASA連携シナジー

- TSUBASAアライアンスの取り組み 345
- 群馬・第四北越アライアンス 346

第3節 グループシナジー

- グループ会社・連携会社の概要 347
- グループ会社の個別施策 352

第4節 新型コロナウイルスへの対応(顧客・地域への多面的支援) 353

第6章 業績の変遷 354

第7章 創立150周年を迎えて

- 1 創立150周年にあたっての職員向け頭取メッセージ(抜粋) 356
- 2 150周年記念事業 357

トピックス 銀行のオンライン化の歴史と未来展望

第1節 事務の機械化から第2次オンラインシステムまで

- 1 事務の機械化およびオフラインの集中処理
事務の機械化のはじまり 362
第四銀行 362
北越銀行 362
地銀データ通信システム 363
- 2 第1次オンラインシステム
第1次オンラインシステムの概要 363
第四銀行 363
北越銀行 364
- 3 第2次オンラインシステム
第2次オンラインシステムの概要 364
第四銀行 364
北越銀行 364
地銀CD全国ネットサービス(全国カードサービス) 365

第2節 第3次オンラインシステム

- 1 第3次オンラインシステムの概要 366
- 2 第四銀行 366
- 3 北越銀行 367
- 4 顧客情報システムへの銀行機能の提供の変遷(EB・FB・IB等) 367
 - (1)エレクトロニックバンキング(EB)草創期..... 367
 - (2)専用端末機によるファームバンキング(FB)の拡大期 368
 - (3)インターネット等の普及による拡大期 369

第3節 アウトソーシング(外部委託)および共同システム

- 1 第四銀行のシステム開発・保守等のアウトソーシング(外部委託)の開始 371
- 2 自行システムから共同システムへの移行..... 372
共同システムの概要..... 372
北越銀行 ~NTTデータ地銀共同センターへの移行~ 372
第四銀行 ~TSUBASA基幹系システムへの移行~ 373

第4節 次世代バンキングサービス

(Web・アプリでの新たな金融サービス提供、業務のデジタル化)

- 1 新たな金融サービス 375
- 2 金融機関の業務のデジタル化 377
- 3 第四北越フィナンシャルグループのDX戦略(2024年3月現在) 379

現況と150周年

役員写真	382
店舗等の様子	384
150周年	386

資料

歴代銀行役員任期一覧	390
歴代頭取	395
営業店略年表	404
主要経営指標の推移	408
年表	414
索引	450
参考資料一覧	459
あとがき	461

コラム

渋沢栄一(沢善会)と第四国立銀行／5 八木朋直の足跡／9 長岡復興の恩人三島億二郎と福沢諭吉／10
第六十九国立銀行を支えた渋沢栄一①／13 第六十九国立銀行を支えた渋沢栄一②／16
「100年満期」の定期貯金証書／21 現金輸送は拳銃持参で！／23 山口権三郎と安田善次郎の親密な関係／32
長岡銀行の積極的な店舗展開の牽引者／33 今では考えられない大正期の職場環境／38
現代にも通じる行員執務心得／43 厳格だった？ 行員の身許保証制度／45
長岡六十九銀行合併に伴う行員の苦勞ばなし／57 一人三役？ 消防署員と農家も兼務した戦時下の銀行員／65
終戦直前の緊迫した新潟県内の情勢／66 新潟県内の小学校に寄贈された国定教科書(復刻版)／76
16年ぶりに返還されたGHQ接收の金銀貨／79 「超」豪華な永年勤続表彰の記念品／83
いくつ答えられる？ 昔の行員採用試験問題／88 趣向を凝らした各店のチラシ①／101
38豪雪への対応／102 検討されていた「新潟銀行」への行名変更／113
北銀奨学生鹿島恵子さん、ミラノスカラ座にデビュー／128 第四銀行の創立記念事業(90・100周年)／139
北越銀行の創業記念事業(85・100周年)／139 趣向を凝らした各店のチラシ②／157
社内機関誌の記事あれこれ／167 子どもからみた銀行員のお父さん／190
週休2日制の拡大と休日の過ごし方(アンケート調査より)／202 行内に外国語スクール開設／225
北越銀行のスポーツ活動／238 記憶に残るキャラクター！／269
第四銀行の創立記念事業(120・130・140周年)／277 北越銀行の創業記念事業(120・130・140周年)／301
新型コロナウイルス(COVID-19)への対応／310 全員で乗り越えた銀行合併／317
新潟経済社会リサーチセンターとホクギン経済研究所／351